

食文化

バーベキューソースのかかった天ぷら、フルーツ入の巻き寿司、つゆがひたすら甘いうどん…。海外のレストランで、こういう料理に出くわした人は少なくないでしょう。誰が呼んだか「トンデモ和食」。日本人の想像の及ばぬ「日本の味」が、昨今は世界中にあります。これは一大事とばかり、腕利きの料理人が現地に乗りで、ニセモノを成敗一。そんなテレビ番組があったほどだから、食文化はいたくナショナリズムを刺激するわけです。

世論調査大手のユーガブが世界 17 カ国・地域でイタリア料理の食べ方の是非を尋ねたところ、やはり本場のイタリア人は「邪道」を大いに嘆いています。最も受け入れがたいのは「パスタにケチャップをかけること」で約 9 割は容認せずの回答だったといいます。つまり、われらが昭和風ナポリタンなど論外らしい。しかしあれは、ひとつの日本料理なのです。同様に海外の不思議な和食だって、味の自在なフュージョンであるに違いない。料理とはなかなか奔放なのです。

そういえば、数日前の小欄では、岩手県花巻市の「ナポリかつ」に触れた。山盛りのナポリタンの上にトンカツが鎮座した異形の一品は、本場から見たらトンデモかクールか。この 2 つの価値観は、実は背中合わせかもしれない。天ぷらにバーベキューソース。やってみると意外に悪くない。ケチャップはさて、どうだろう。

鎌野



迷惑メール

静岡県の蔓延防止等重点措置は、2月20までのはずでしたが、コロナの感染拡大が収まらず、再度延長となりました。ここへきて、身近な方の感染者や濃厚接触者が増えて、自分もいつかかるか分からないような状況です。

更に花粉症の季節が本格的に到来し、花粉症持ちの私としては、コロナのオミクロン株と症状がよく似ているため、花粉症なのかコロナなのか、その日の体調で一喜一憂する日々です。いっそ罹ってしまえば面倒ではないのですが、何せ糖尿病、高血圧の持病持ちですので、やはり安易にかかるわけにもいかず、本当に早く終息することを願います。自宅で検査できるという検査キットを買おうかとも思いましたが、そもそも品切れでしたし、なんか怪しい商品も多数出回っており、こんな中でも金儲けを企む人がいることを、悲しく思う日々です。

毎朝パソコンのメールを整理していると、サギのメールが本当に必要なメールの 10 倍くらい来ています。世界中で、いったいどれだけの人の時間をこの迷惑メール奪っているのだろう？一体、どれだけの経済損失を生んでいるのだろう？そう考えると、もっと重罪にしてとっ捕まえて欲しいですね！なんというか、嫌な世の中の象徴とでも言いましょうか、迷惑・サギメールがなくなる世の中、日本を目指して欲しいです。NHK は、あってもいいかな。

英樹



配り

第
273
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地

節分に近くのお宮へソバ供え

豆を片手に捲く「福は内」

ねがみともみ



アルプスの冬嶺車窓ゆ消えたれば
降り立つホームの雑沓に粉る

勝亦
りつ子



ランチョンマットの謎

食事の時にテーブルにマットを敷いたりしますよね。テーブルが少し華やかに演出されてお洒落になりますね。視覚が華やかだと実際の料理の味も少しだけ美味しく感じたりします。味覚は視覚とも繋がっているんでしょうね。目が美味しいとか言いますもんね。ところで、あの敷物をなんと呼んでいますか？多くの方は「ランチョンマット」と呼んでいるのではないのでしょうか。ちょっと気になって調べてみました。コトバンクより。

【ランチョンマット】食事の時、テーブルの上に敷く一人用の小さな敷物。食器が直接テーブルにあたって音がしたりテーブルに傷が付いたりするのを防ぐために用いる。◇和製語。ランチョン (luncheon) + マット (mat)。とあります。ほう、和製語なんですわね。

でもこれって朝食も夕食も使いますよね、ランチョンって、ランチ=昼食じゃないの？って気になったのでランチョンも調べてみましたよ。こちらはちゃんと英語でした。

【ランチョン】〔名〕(luncheon) ランチより格式のある上品な昼食。とくに接待などの午餐。また逆に、軽い昼食のことをもいう。とありました。

え？ええ？格式のある上品な～『また逆に軽い昼食』どういう事だ？？？

普通のお昼よりちゃんとしているか、あるいは軽い？ほぼ逆の意味なのに同じ言葉？？だったら昼食を表わすランチ (lunch) はどういう立ち位置になるの！？

ランチョンマットは何時使ってもランチョンマット、格式があっても無くてランチョンマット。ランチョンマットの謎は僕の解明したいリストに入りました。

ランチョンマット。不思議だ・・・



柳田 敏和

冬季オリンピック



北京オリンピックが終わりました。これから北京パラリンピックが始まりますが、日の丸背負って、ひたむきに競技に向かう選手達を観ていると、勝ち負けあれどワクワクします。予選、準決勝、決勝とほぼ毎日滑って、銀メダル3個金メダル1個を獲得した、スピードスケートの高木美帆選手。すごい！体力もすごいが、精神面も強くないと、まさに心技体。又、ジャンプの小林陵侑選手。この小林選手の言葉。4年後に向けて『継続ってという言葉を使えばまわりに置いていかれるような世界だと思うので、ちょっとずつレベルアップしていかないとけない』。

世界に勝ち続けるために何が必要か？との間に、『満足しない向上心と割り切る力と落ち着いている心』。と。

見習いたい。アスリートでもなんでもない私ですが、反復したい言葉であり行動です。

繰り返し繰り返し頭の中でつぶやくと、繰り返した行動や言葉が身になるには二歩下がって一歩前って感じで、行動が少しずつ変わるかな。と考えている私。アスリートでもなんでもありませんがね。

それに、選手達の眼力？がいいですね。4年に1度のオリンピック、今までいろいろな人と出会って協力してもらって自分を磨いてメダルを目指す。並大抵ではメダルは取れません。最近人間に感動することがなかったので、自分の小ささがまた俯瞰できてよかったです。

漢字がかけない



便利な世の中になりました。特に、パソコンや携帯電話。キーボードで打ち込めば漢字も変換される。いくつか出てきた候補から正しいものを選べば、難しい漢字も使うことができます。しかし、いざ手書きで書こうとすると、頭には使いたい漢字の形は浮かぶけど細かいところがはっきり思い出せないことが増えてきました。楽な機械になれてしまって思い出機能低下したのか、それとも頭が老化したのか・・・。

紙の漢字辞典を使うと良いと聞きました。使うことで得られるメリットは、「受け身からの脱却」「コミュニケーション能力、思考力が身につく」「言葉の力が身につく」だそうです。確かに、学生の頃は、紙の辞書しかなく、調べた漢字を何度も覚えるまで書き取り練習しましたね。

しかし、便利なものはやめられず、かさばる辞書は常に持ち歩くことも出来ず実行できていません。

祥子